

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
 ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
 (この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用(操作・保守・点検)の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■使用上の注意

注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の上に物を載せたり、もたれ掛かったりしないでください。破損、転倒やケガの原因になる可能性があります。 ・高温、高湿、腐食性ガス、塵埃、オイルミスト、有機溶剤の使用環境などの雰囲気(工場)では使用しないでください。錆、腐食、変形、割れなどが発生します。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・キャビネット本体に落下等の強い衝撃を与えないでください。衝撃によりへこみや歪みが発生し、強度劣化につながります。
 指を挟まれないよう注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット引出し可動時、光ファイバの挟み込みや巻き込みに十分注意してください。光ファイバの断線の原因になります。この時指を挟まないよう十分注意してください。

■施工上の注意

注意	
	<ul style="list-style-type: none"> ・引出しユニットを引出した状態で、引出しユニットの上に物を載せたりしないでください。破損、転倒やケガの原因になる可能性があります。 ・引出しユニットを引出した状態で別の作業を行う時は十分に注意してください。ケガの原因になる可能性があります。 ・天井面への局所的な荷重を避けてください。変形の原因となります。 ・光ファイバ心線がケーブルガイドの外にはみ出さないように十分注意してください。はみ出しがある場合、引出し可動時に光ファイバを傷つけることがあります。 ・ドア、側板や背面板を着脱する時は、重量物であるので落下等のないよう十分に注意してください。ケガの原因となる可能性があります。また、取付けた後に、外れないか・がたつきがないか確認してください。 ・引出しトレイは作業終了後必ずロックしてください。 ・ケーブルガイドをスライドさせて取外す場合、ケーブルガイドを回転させないでください。ケーブルガイドが破損します。

- 標準は4心テープ心線用です。他のテープ心線又は単心を使用の場合は別途お問い合わせください。
- 下側からの入線を標準としていますので、上からの入出線の場合は別途お問い合わせください。

目 次

SPE-SA - -N

各部の名称	…3～4ページ
配線形態	…5ページ
配線手順	…6～9ページ
配線後の追加	…12ページ
キャビネットの使用方法	…13ページ
キャビネットの設置方法	…13ページ
フレーム枠と基台の脱着方法、キャビネットの寸法	…14～15ページ
仕様・付属品	…15ページ

SPE-SA -SC 高密度タイプ

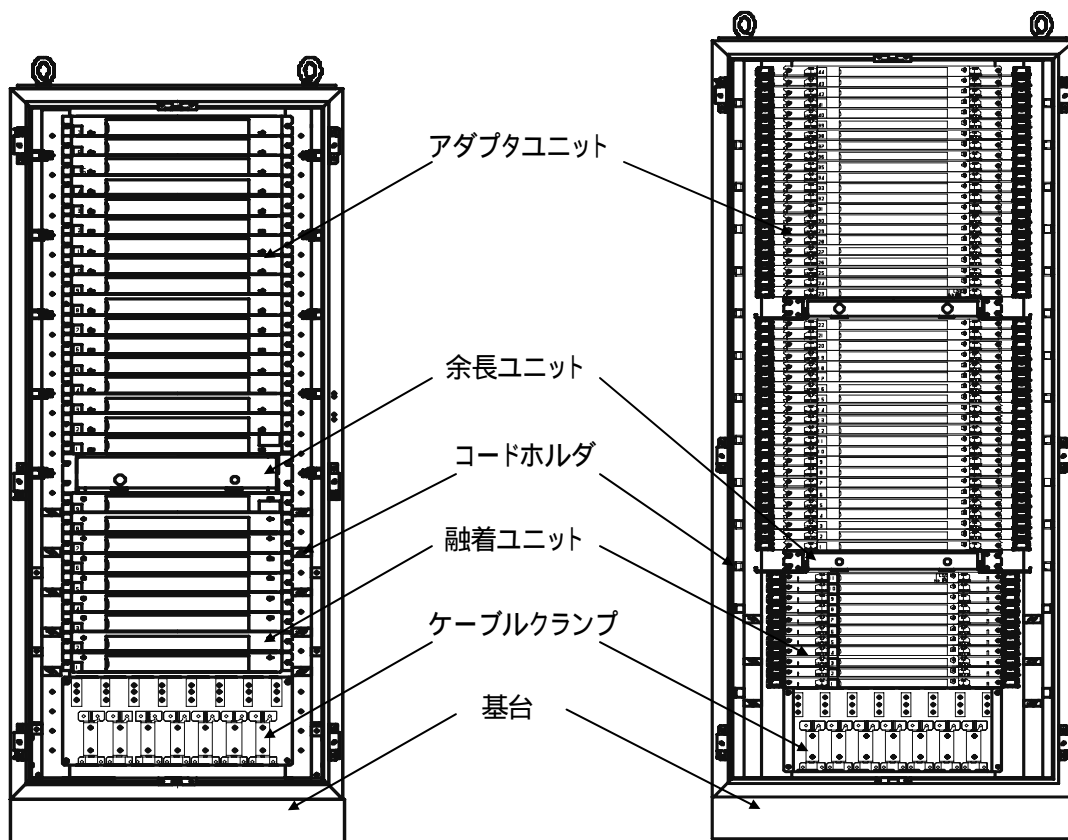
各部の名称	…3～4ページ
配線形態	…5ページ
配線手順	…9～11ページ
配線後の追加	…12ページ
キャビネットの使用方法	…13ページ
キャビネットの設置方法	…13ページ
フレーム枠と基台の脱着方法、キャビネットの寸法	…14～15ページ
仕様・付属品	…15ページ

各部の名称

・本体

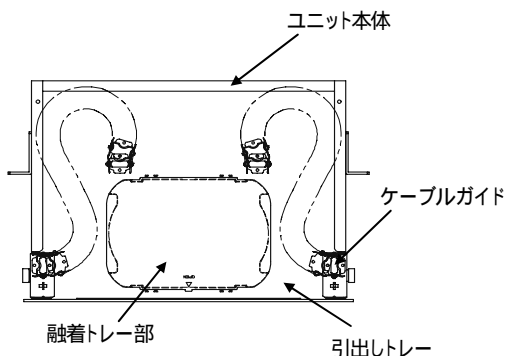
SPE - SA - - N

SPE - SA - SC 高密度タイプ

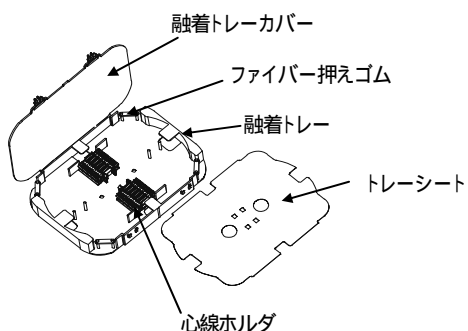


SPE - SA - N用ユニット

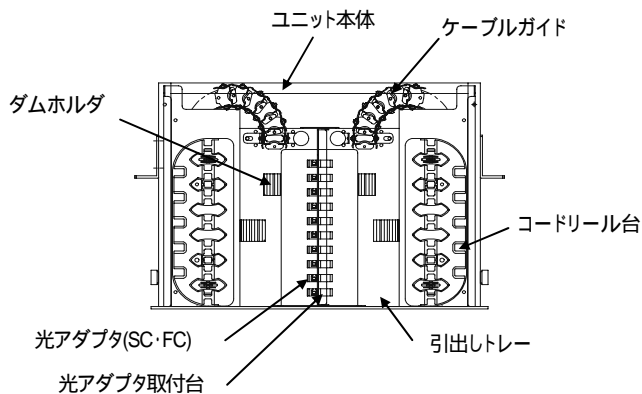
・融着ユニット



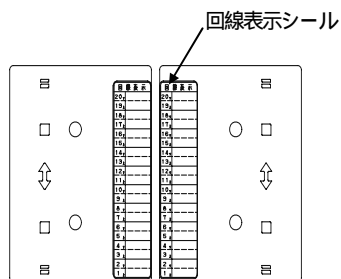
・融着トレー部



・アダプタユニット

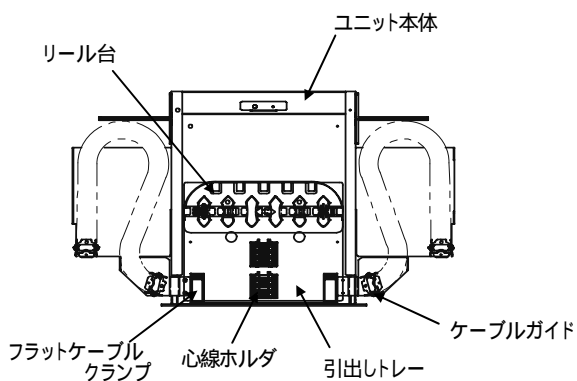


・シールドカバー

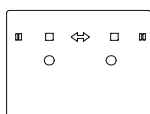


SPE - SA - SC 高密度タイプ用ユニット

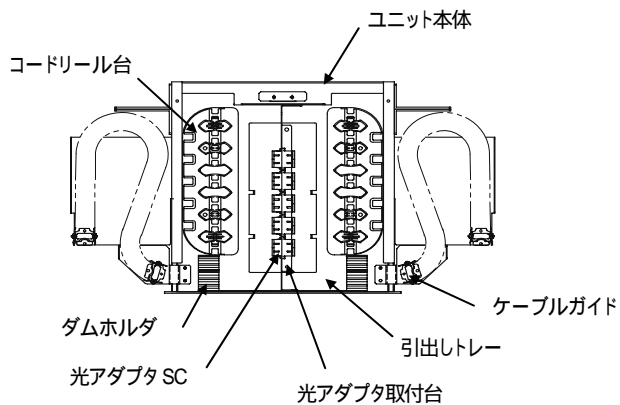
・融着ユニット



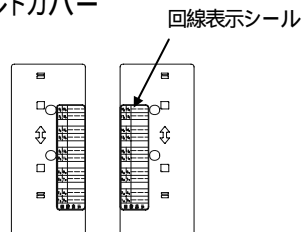
・シールドカバー



・アダプタユニット

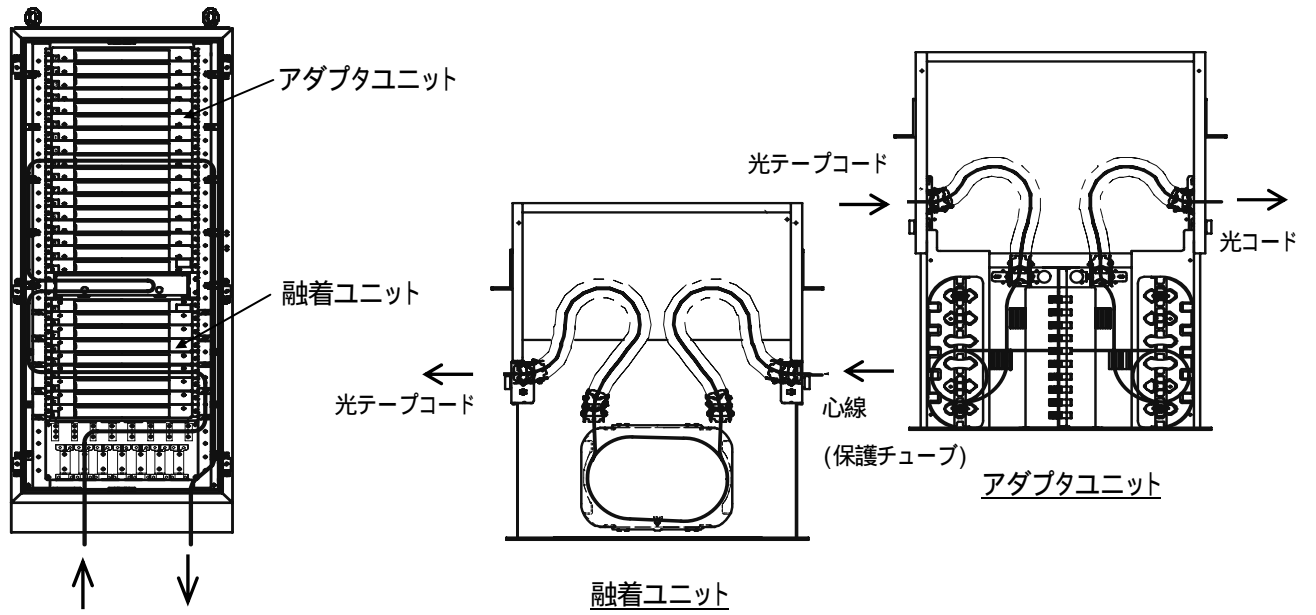


・シールドカバー

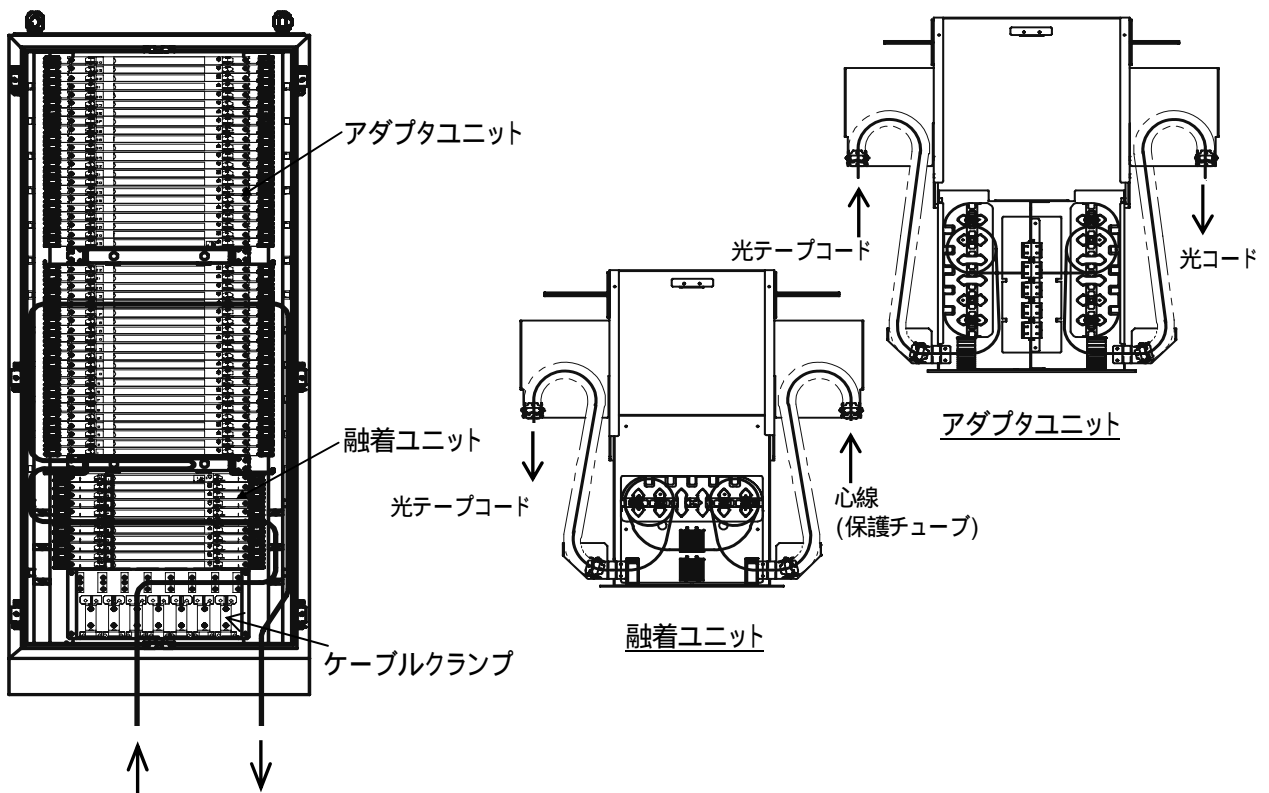


配線形態

SPE - SA - - N



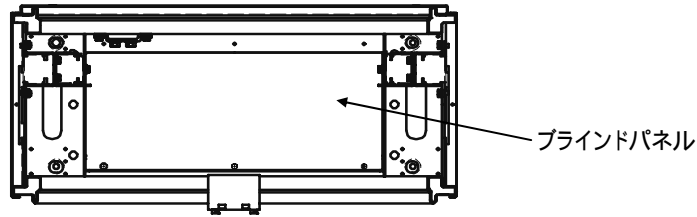
SPE - SA - SC 高密度タイプ



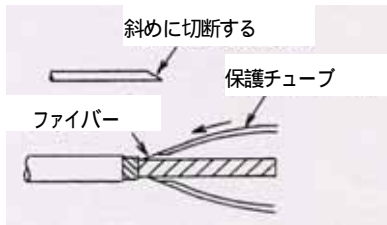
配線手順

1. ボックス入出線部

- 1 - 1 キャビネット内側より本体底面部のブラインドパネルに穴加工をして、光ケーブル、光コードを入線します。



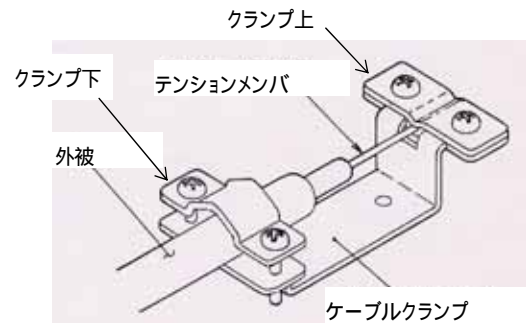
- 1 - 2 ケーブルクランプ部から融着ユニット内の融着トレー (高密度の場合はフラットケーブルクランプ部)まで心線を保護出来るように保護チューブ(付属品)を切り、先端を斜めに切断して、心線を挿入します。



- 保護チューブとシース剥ぎ取り際をテーピングして下さい。(保護チューブの抜け防止)



- 1 - 3 光ケーブルのテンションメンバをクランプ上で、外被をクランプ下で確実に固定します。
注)光ケーブルの締付けすぎに注意してください。



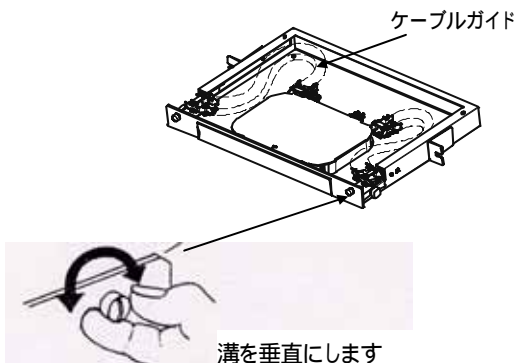
固定は締付トルク 1.96 ~ 2.94 [N・m] で締付けてください。

2. ユニットの配線

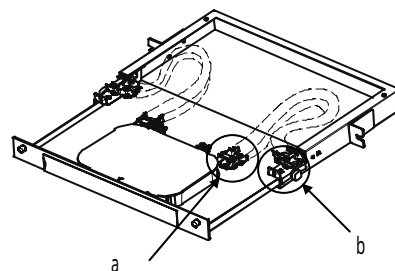
- 2A. SPE - SA - N用ユニット
融着ユニット

ケーブルガイドがユニット引出し可動時に追従して動きますので、引出し時の長さ調整を考慮はありません。

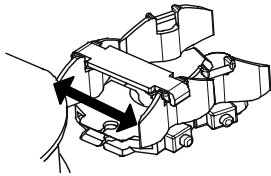
- 2A - 1. 下図のように引出しトレーのロックを解除します。



- 2A - 2. 引出しトレーを引出します。
(トレーは両手で引出してください。)

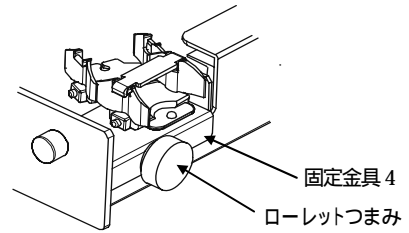


2A - 3 . 左右にスライドさせケーブルガイドを外します。
 ケーブルガイドは回転させないでください。
 ケーブルガイドが破損します。



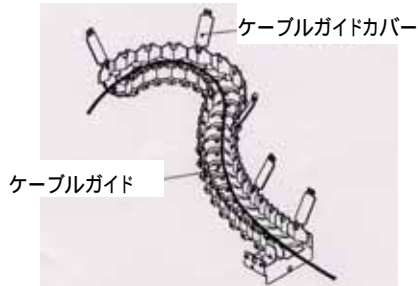
a部拡大図

2A - 4 . ローレットつまみを回して取外した後、
 固定金具4をユニットから外します。

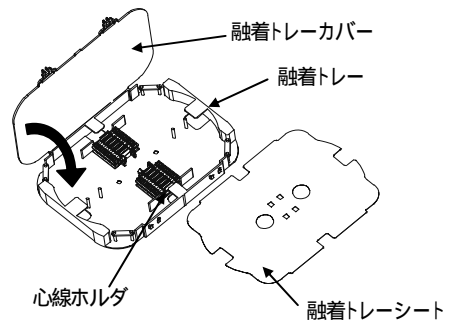


b部拡大図

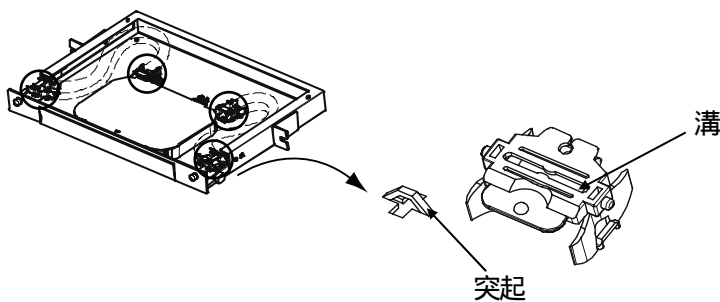
2A - 5 . ケーブルガイドカバーを外し心線
 (保護チューブ付き)を上から挿入し、
 カバーを付けユニット本体に戻します。



2A - 6 . 心線ホルダに補強熱スリーブ(付属品)
 を差込み余長をトレーに収納します。
 ファイバ押えゴム及びシートで押え
 融着トレーカバーを閉めます。



2A - 7 . ユニットの突起部にケーブルガイドの裏側の
 溝を合わせ左右にスライドさせ取付けます。
 ケーブルガイドは回転させないでください。
 ケーブルガイドが破損します。



2A - 8 . 引出しトレーを収納し下図のように
 ロックします。



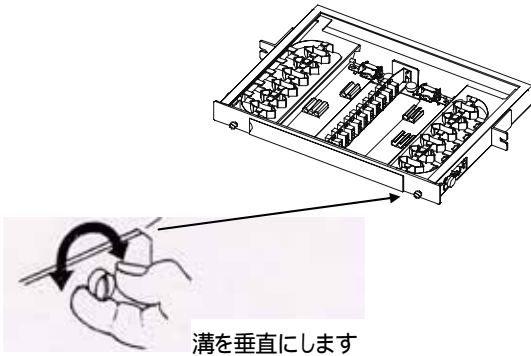
溝を水平にして押します

<注意> 心線(保護チューブ付き)、光コードがケーブルガイドの外にはみ出さな
 いように十分注意してください。はみ出しがある場合、引出し可動時に
 光ファイバを傷つけることがあります。

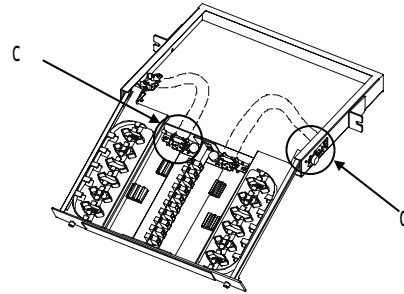
アダプタユニット

ケーブルガイドがユニット引出し可動時に追従して動きますので、引出し時の長さ調整を考慮する必要はありません。

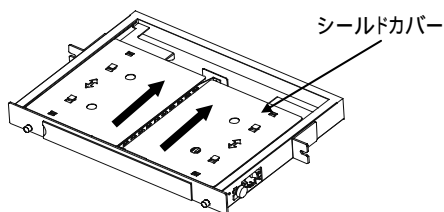
2A - 9. 下図のように引出しトレイのロックを解除します。



2A - 10. 引出しトレイを引出します。

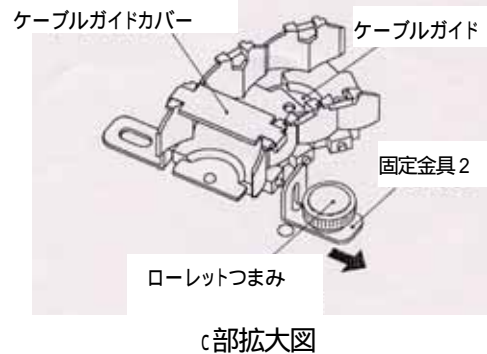


2A - 11. シールドカバーを下図の矢印の向きにスライドさせ取外します。

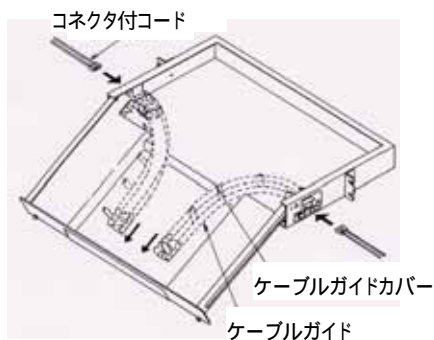


* 外しにくい場合はシールドカバーをかるく持上げてスライドさせてください。

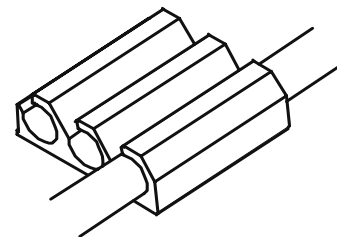
2A - 12. ローレットつまみをゆるめ固定金具2をスライドさせケーブルガイドを取外します。



2A - 13. ケーブルガイドを手前に引き、ケーブルガイドカバーを外し、側方からコネクタ付コードを挿入した後、ケーブルガイドカバーをしてユニットに戻します。



2A - 14. ダムをダムホルダに固定します。
(8mm, 10mm のダムを固定することができます)



2A - 15 . 引出しトレイを収納して下図のようにロックします。

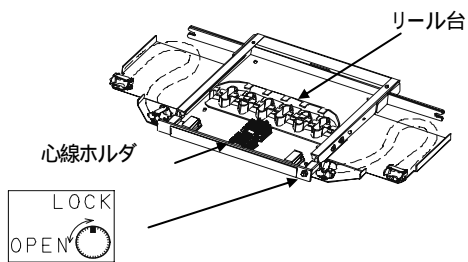


溝を水平にして押します

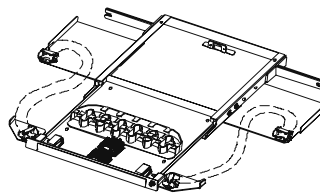
2B . SPE - SA - SC 高密度タイプ用ユニット 融着ユニット

ケーブルガイドがユニット引出し可動時に追従して動きますので、引出し時の長さ調整を考慮する必要はありません。

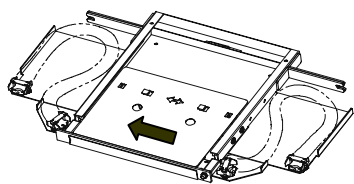
2B - 1 . 下図のようにつまみをOPEN位置までまわしてロックを解除します。



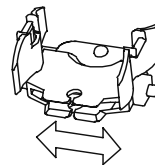
2B - 2 . 引出しトレイを引出します。
(トレイは両手で引出してください。)



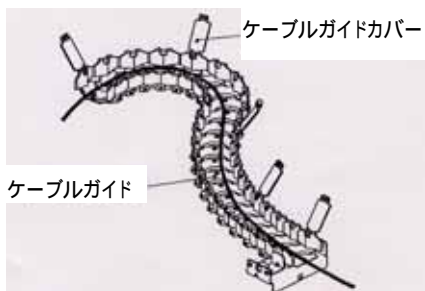
2B - 3 . シールドカバーを下図の矢印の向きにスライドさせ取外します。



2B - 4 . 左右にスライドさせケーブルガイドを取外します。ケーブルガイドは回転させないでください。ケーブルガイドが破損します。



2B - 5 . ケーブルガイドカバーを外し心線(保護チューブ)光コードを上から挿入します。次にカバーを付けユニット本体に戻します。

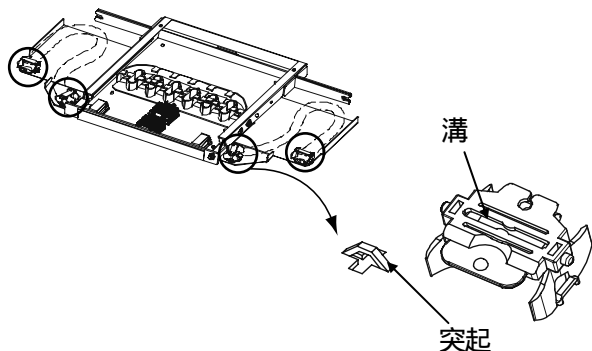


カバーの開け方

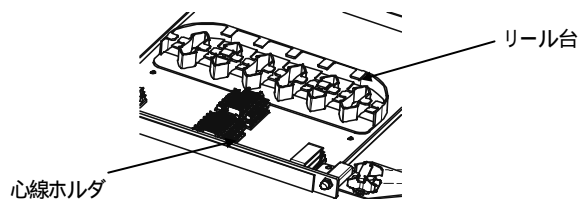
カバーの閉じ方



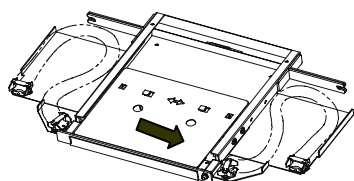
2B - 6 . ユニットの突起部にケーブルガイド裏側の溝を合わせ左右にスライドさせ取付けます。ケーブルガイドは回転させないでください。ケーブルガイドが破損します。



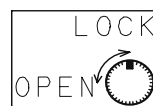
2B - 7 . 心線ホルダ(2段積み)に補強熱スリーブ(付属品)を差込み余長をリール台に収納します。



2B - 8 . シールドカバーを下図の矢印の向きにスライドさせ取付けます。



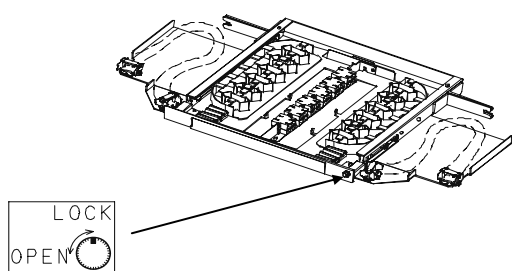
2B - 9 . 引出しトレイを収納して必ず下図のようにつまみをLOCK位置までまわします。



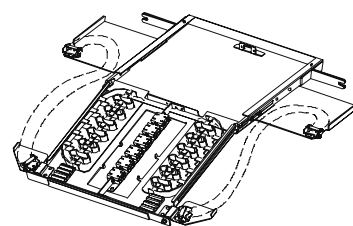
アダプタユニット

ケーブルガイドがユニット引出し可動時に追従して動きますので、引出し時の長さ調整を考慮する必要はありません。

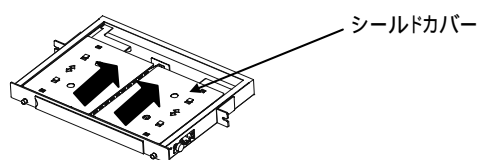
2B - 10 . 下図のようにつまみをOPEN位置までまわしロックを解除します。



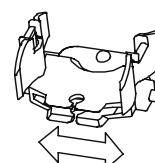
2B - 11 . 引出しトレイを引出します。(トレイは両手で引出してください。)



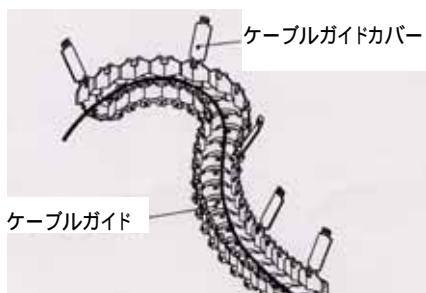
2B - 12 . シールドカバーを後方にスライドさせ取外します。



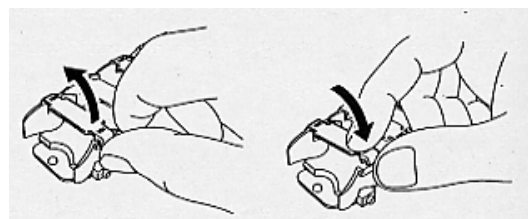
2B - 13 . 左右にスライドさせケーブルガイドを取外します。ケーブルガイドは回転させないでください。ケーブルガイドが破損します。



2B - 14 . ケーブルガイドカバーを外し、
光コードを上から挿入します。
次にカバーを付けユニット本体に戻します。

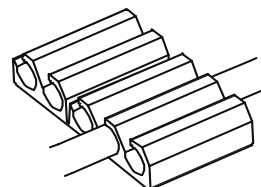
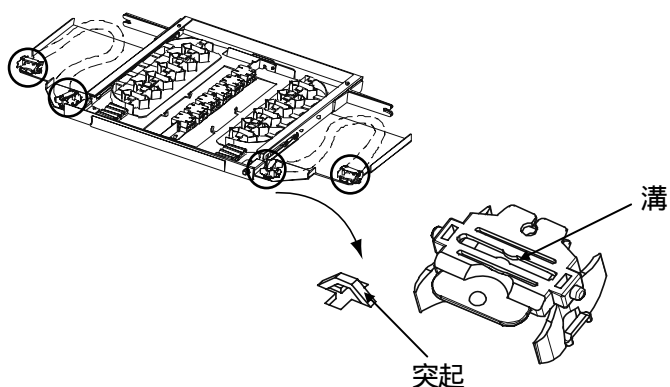


カバーの開け方 カバーの閉じ方



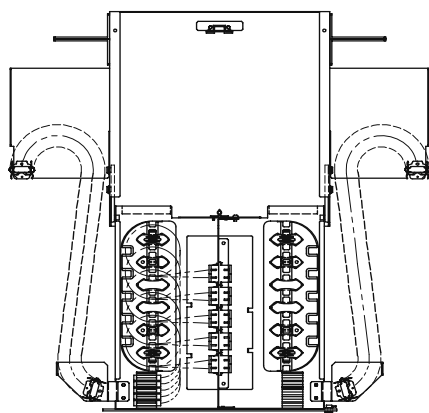
2B - 15 . ユニットの突起部にケーブルガイド裏側の溝を合わせ左右にスライドさせ取付けます。ケーブルガイドは回転させないでください。ケーブルガイドが破損します。

2B - 16 . ダムをダムホルダに固定します。
(8mm, 10mmのダムを固定することができます)



2B - 17 . 光コードの余長を取ります。

2B - 18 . 引出しトレーを収納して必ず下図のようにつまみをLOCK位置までまわします。

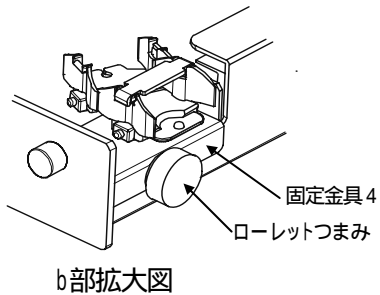


配線後の追加

・SPE - SA - - N

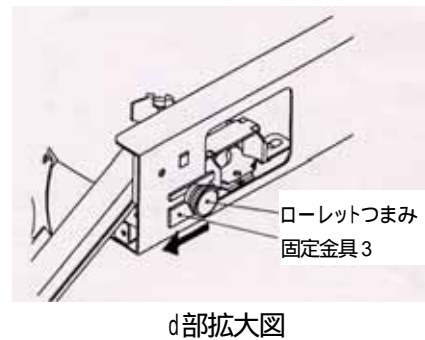
・融着ユニット

- ・ローレットつまみを回して取外した後、固定金具4を取外します。
- 既存配線を乱さずに配線できます。

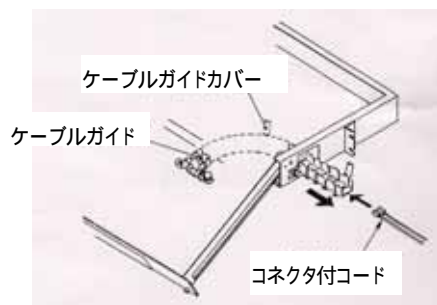


・アダプタユニット

- ・ローレットつまみをゆるめ固定金具3をスライドさせケーブルガイドを取外します。



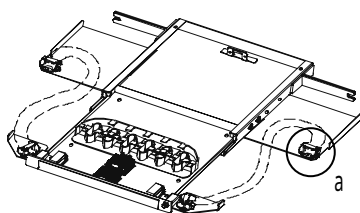
- ・側面のケーブルガイドを引出し、ケーブルガイドカバーを外し、コネクタ付コードを本体に戻します。



・SPE - SA - SC 高密度タイプ

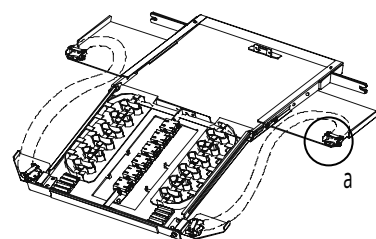
・融着ユニット

- ・下図のようにa部のみを外し、既存配線を乱さずに配線できます。



・アダプタユニット

- ・下図のようにa部のみを外し、既存配線を乱さずに配線できます。



■キャビネットの使用方法

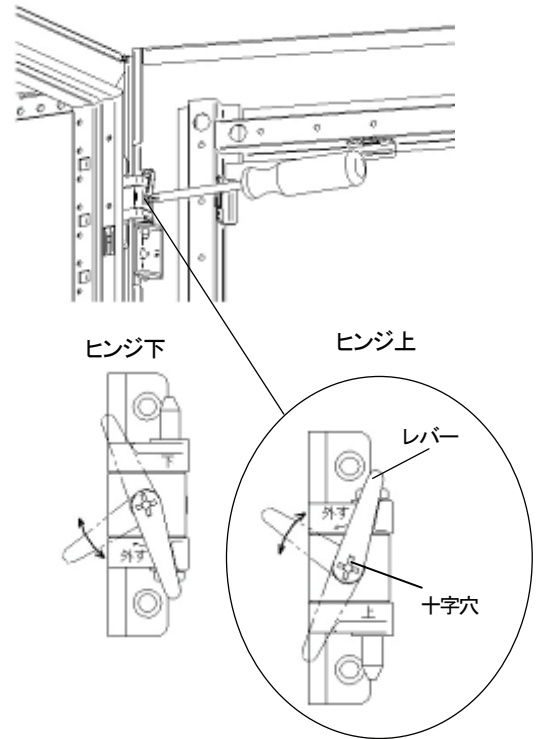
1. ドアの着脱方法

- ・ドアを90度以上に開いた状態で、フレームに取付けられたヒンジのレバーで回転させ、ドアを着脱します。
- ※レバーが硬い場合は十字穴をドライバーで回転させてください。
- ・取外し時のヒンジ部操作は、①下部②上部③中央の順で行ってください。また装着の場合は逆の順序となります。



ご注意

- ・レバー操作で指を挟まないように注意してください。
- ・ヒンジの矢印方向に従ってレバー(ドライバー)を回転させてください。
逆方向に回転したり、必要以上に回転させますと、十字穴あるいはギヤ部が破損する恐れがあります。
(電動ドライバーでの操作はしないでください)
- ・ドアを取付けた後に、ドアが外れないか、がたつきがないか確認してください。
- ・ドアの開閉方向を現地で変更することはできません。



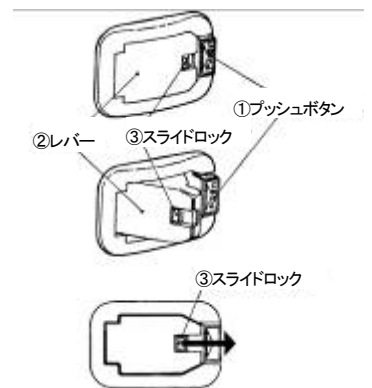
2. ホールドラッチの操作方法

- ・側板の着脱は、ホールドラッチで行います。
- プッシュボタン①を押すとレバー②が跳ね上がり、外装パネルが外れます。又、側板を取付ける際には、レバー②を倒すとフレームに固定されます。
- ・不意なレバーの跳ね上がり防止のためにロック機構が付いています。その際は③をスライドさせる事によりロックが可能になります。



ご注意

- ・側板を取付けた後に、ラッチが確実に掛かっているか、がたつきがないか確認してください。



■キャビネットの設置方法

1. 吊上げ時のご注意

- ・4ヶ所で吊上げ、45度以上の角度で均一な荷重にしてください。
- ・2ヶ所で吊上げや45度未満の吊上げ角度は落下の恐れがあります。

2. 設置のご注意(耐震対策について)

- ・地震の際転倒の恐れがあります。所定のアンカーボルトの他に転倒防止の対策を行ってください。別売りオプション RD742-20K「壁面固定金具」キャビネットへの穴加工なしで使用頂けます。

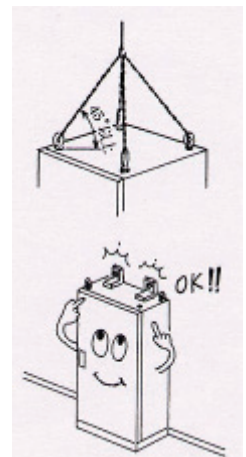
3. 設置のご注意(床が平行でない場合)

- ・固定前に扉を開いたままにすると転倒する恐れがあります。設置の際、床面にひずみがある場合、ケースのひずみに影響がでますので、その場合はスペーサ等により、設置面が平行になるように調整をしてください。



【調整の仕方】

- ↑①の方向にひずんだ時は、①の箇所のどちらか一方にスペーサ等を入れてください。
- ↓②の方向にひずんだ時は、②の箇所のどちらか一方にスペーサ等を入れて設置面が平行になるように調整してください。



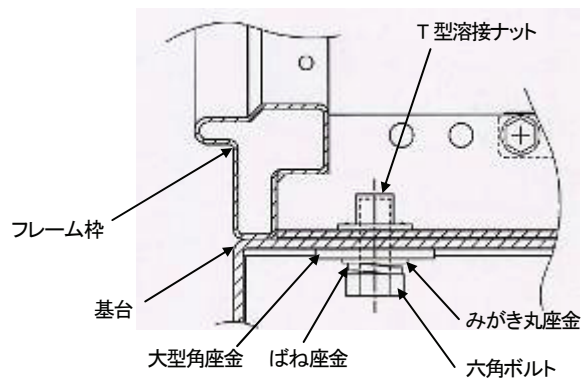
■ フレーム枠と基台の着脱方法

〈取外し方〉

基台の下方から六角ボルトを緩め、六角ボルト・ばね座金・みがき丸座金・大型角座金を取外す。

〈取付け方〉

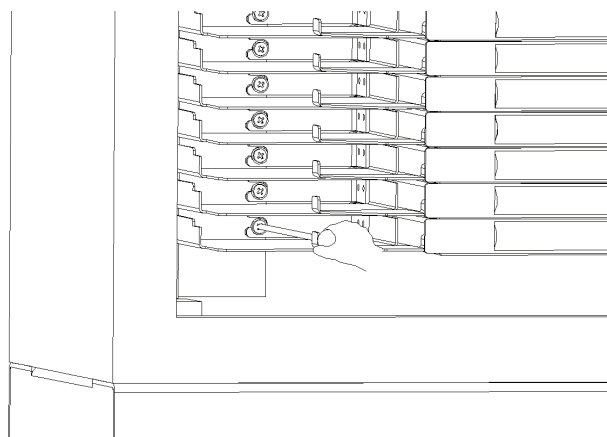
フレーム枠の四隅に溶接されているT型溶接ナットに基台の下方から大型角座金・みがき丸座金・ばね座金を右図のように挟んで、六角ボルトを差込み、取付ける。



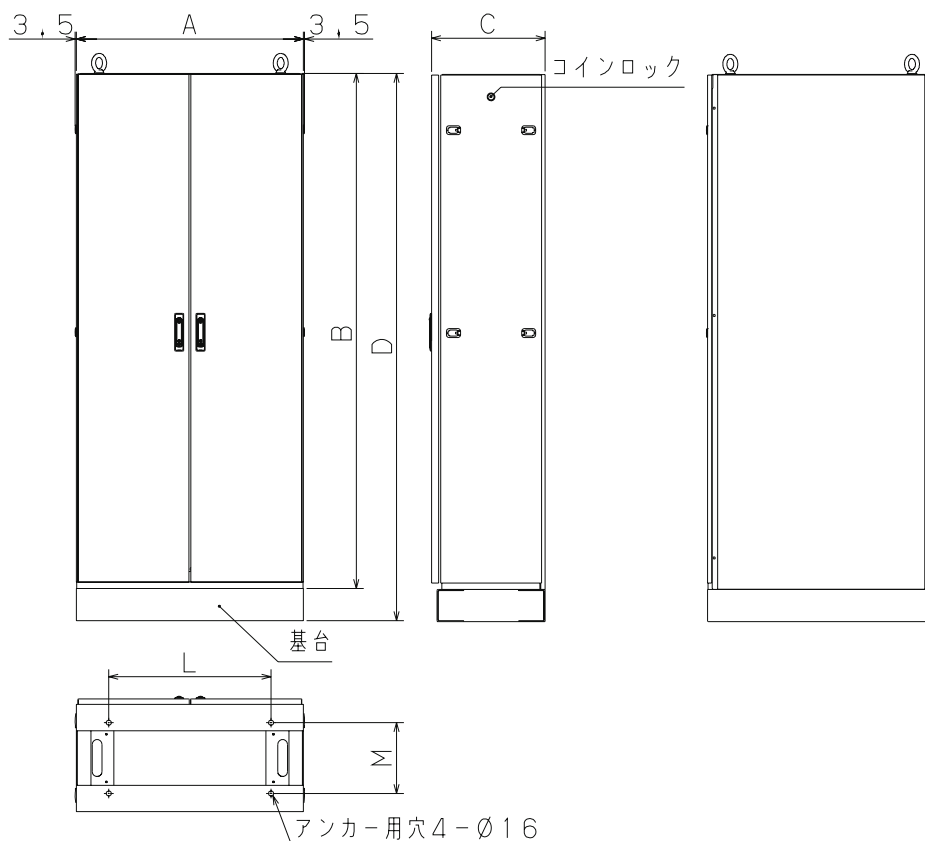
・SPE-SA□□□-SC 高密度タイプの場合

上上入出線の場合、下から3段ほどのアダプタユニットを付属のドライバーで取外してから作業を行ってください。

また、付属のドライバーは融着ユニット、アダプタユニットの増設時、取外し時にもご使用ください。



■ キャビネット寸法






仕様

・ 融着接続 + コネクタ接続タイプ

品名記号	融着 接続数	クランプ 数	融着 段数	アダプタ 段数	外形寸法 mm				取付寸法	
					A(コ)	B(行)	C(フカサ)	D(行)	L	M
SPE-SA100-SC-N	100	7	3	5	700	1000	350	1100	500	220
SPE-SA100-FC-N	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
SPE-SA160-SC-N	160	"	4	8	"	"	"	"	"	"
SPE-SA160-FC-N	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
SPE-SA240-SC-N	240	"	6	12	"	1600	"	1700	"	"
SPE-SA240-FC-N	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
SPE-SA340-SC-N	340	"	9	17	"	"	"	"	"	"
SPE-SA340-FC-N	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
SPE-SA460-SC-N	460	"	12	23	"	2300	"	2400	"	"
SPE-SA460-FC-N	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
SPE-SA560-SC-N	560	"	14	28	"	"	"	"	"	"
SPE-SA560-FC-N	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
SPE-SA600-SC	600	"	8	30	800	1800	400	1900	600	270
SPE-SA880-SC	880	"	11	44	"	"	"	"	"	"
SPE-SA1000-SC	1000	"	13	50	"	2300	"	2400	"	"
SPE-SA1200-SC	1200	"	15	60	"	"	"	"	"	"

付属品

品名		SA-100	SA-160	SA-240	SA-340	SA-460	SA-560	SA-600	SA-880	SA-1000	SA-1200
保護チューブ (8色)		1コ	1コ	2コ	2コ	3コ	3コ	3コ	5コ	5コ	6コ
補強熱スリーブ		30本	42本	60本	90本	120本	144本	150本	222本	252本	300本
ドライバー								1本	1本	1本	1本

施工業者名

TEL

施工年月日

年

月

日

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。 この取扱説明書の内容は2010年03月現在のものです。

NITTO 日東工業株式会社
© NITTO KOGYO CORPORATION

お客様相談室 / 愛知県愛知郡長久手町蟹原 2201 番地
TEL (0561)64-0152
http://www.nitto.co.jp

B923100924